

シリーズ企画

オリンピックと屋内全面禁煙法・条例(その65)(最終回) 改正健康増進法の全面施行に期待すること

北九州市医師会広報委員会委員
産業医科大学産業生態科学研究所
健康開発科学研究室 教授

大和 浩

この5年間で改正健康増進法も東京都条例も一度は頓挫しましたが、4月からは無事に全面施行されます。筆者が北九州市医師会広報委員会に参

加した2014年から始めたこの連載は、今回で最終回となります。表1に64回分のテーマの一覧表を示します。

表1. オリンピックと屋内全面禁煙法・条例のタイトル一覧

0	2014年10月号	・連載開始のお知らせ	17	2016年3月号	・自民党議連、超党派議連、政府の動き
1	2014年11月号	・オリンピックとタバコの関わり			①医療系国会議員へのアプローチ、第25回禁煙医師連総会
2	2014年12月号	・東京都議会、タウンミーティング	18	2016年4月号	②弘前市たばこの健康被害防止対策の指針(案)
3	2015年1月号	・東京都条例検討委員会設置			③美唄市へのふるさと納税
4	2015年2月号	・オリンピックを禁煙にする超党派議員連盟発足	19	2016年5月号	①松沢氏(参議院議員)、尾崎先生(東京都医師会会長)の講演
5	2015年3月号	・東京都条例に自民党から「反対」の要望書			②WHO高官、ベッチャー氏来日
6	2015年4月号	①東京都条例 ②山形県「宣言」	20	2016年6月号	①美唄市条例成立で記念講演
7	2015年5月号	①WHO高官ベッチャー氏講演、 ②東京都条例検討会「まとまらず」、年度を超えて第6回へ			②「弘前市たばこの健康被害防止対策の指針(案)」にパブコメ144件
8	2015年6月号	・美唄市の受動喫煙防止条例の試みとタバコ産業の妨害	21	2016年7月号	①北京市の現状を見た
9	2015年7月号	①日本学術会議から東京都に緊急提言 ②都検討委員会終了			②新居浜市が熱い
10	2015年8月号	①世界禁煙デーイベント報告 ②韓国の禁煙化 ③北京市の禁煙化			③世界禁煙デー、日本医師会・厚生労働省が受動喫煙防止法成立へ決意
11	2015年9月号	・東京都民の過半数が罰則付きの規制に賛成	22	2016年8月号	①美唄市受動喫煙防止条例が施行
12	2015年10月号	・東京都受動喫煙防止条例の再要望書提出			②秋田県もガイドライン策定
13	2015年11月号	①美唄市の条例化を妨害するタバコ産業 ②神戸市と小倉駅前の灰皿 ③東京都選出の公明党議員への講義	23	2016年9月号	・「弘前市たばこの健康被害防止対策指針」案は「全面禁煙」を目標に
14	2015年12月号	・東京都とタバコ産業の共同作業：喫煙室に助成金	24	2016年10月号	厚生労働省が新しい「タバコ白書」、受動喫煙で肺がんリスクは1.28倍に上昇
15	2016年1月号	①東京都医師会尾崎会長の本気度 ②厚生労働省の本気度	25	2016年11月号	・ステップ・バイ・ステップで進んだ北京市の屋内全面禁煙化
16	2016年2月号	①美唄市受動喫煙防止条例成立 ②京都市へのタバコ産業の妨害、学生と国会議員のシンポジウム	26	2016年12月号	①国立がん研究センターとJTのバトル ②厚生労働省が受動喫煙防止法の「たたき台」
			27	2017年1月号	①尾崎東京都医師会長の、熱い講演 ②厚生労働省、受動喫煙対策のヒヤリング ③「受動喫煙のない社会」へロゴマーク
			28	2017年2月号	①政府と7知事に受動喫煙防止要望 ②厚生労働省、喫煙の後は「遠回り」 ③東北大学と産業医科大学、「新型タバコ」も禁止

29	2017年3月号	①塩崎大臣が国会へ法案提出表明 ②健康増進法の一部改正を検討か	51	2019年1月号	・加熱式タバコを紙巻きタバコと同様に規制した神奈川県、兵庫県、調布市
30	2017年4月号	・厚生労働省が健康増進法改正案を発表	52	2019年2月号	①改正健康増進法施行令の一部を改正する政令案へのパブコメ ②兵庫県受動喫煙防止条例の見直し
31	2017年5月号	①厚生労働大臣に全面禁煙化の要望相次ぐ ②自民党「たばこ議連」が骨抜き対案	53	2019年3月号	・「健康増進法の一部を改正する法律の一部の施行期日を決める政令」により改正法の一部が1月24日に施行され、屋外と家庭の受動喫煙対策が強化されます。
32	2017年6月号	①国会議員が受動喫煙防止に反対する理由 ②法規制に向け私達ができること（議員への手紙、日本医師会の署名）	54	2019年4月号	・「健康増進法の一部を改正する法律」の政省令・告示が公布されました
33	2017年7月号	①受動喫煙防止法、国会へ上程できず ②都議会は条例成立の見込み ③日医、イベントや署名に全力投球	55	2019年5月号	・改正健康増進法よりも厳しい条例が次々に成立 ①大阪府受動喫煙防止条例 ②兵庫県、受動喫煙の防止等に関する条例の改正 ③神奈川県、調布市、豊橋市でも条例で加熱式タバコを規制
34	2017年8月号	①塩崎厚生労働大臣が「談話」 ②「受動喫煙防止対策強化」追加資料		2019年5月号	・編集室だより「ある精神科病院の敷地内禁煙化」
35	2017年9月号	・加熱式タバコの構造と屋内での使用を禁止すべき根拠	56	2019年6月号	・改正健康増進法 ①厚生労働省「なくそう！望まない受動喫煙Webサイト」 ②改正年功増進法の施行に関するQ&A」が公表されました
36	2017年10月号	①受動喫煙防止対策強化に264万筆 ②あなたとそばにいる人のため、禁煙は愛	57	2019年7月号	・改正健康増進法 ①相次ぐ第一種施設の敷地内全面禁煙（滋賀県庁、鎌倉市、佐賀県・県警、福井県警） ②第二種施設の良心的な対応（名古屋高裁）と残念な決定（北海道議会）
37	2017年11月号	①東京都が受動喫煙防止条例（仮称）公表 ②JT、都条例案に反対意見	58	2019年8月号	・改正健康増進法 ①さらに相次ぐ、第一種施設の敷地内全面禁煙 ②福岡県と北九州市の残念な決定
38	2017年12月号	①「東京都子どもを受動喫煙から守る条例」可決 ②都条例にJTがコメント	59	2019年9月号	①秋田県受動喫煙防止条例成立 ②熊本市役所が敷地内禁煙を実施
39	2018年1月号	①厚労省案「飲食店、150平方メートルまでは喫煙可」？ ②東京都が飲食店の実態調査	60	2019年10月号	・WHO、加熱式タバコは屋内で使用禁止とする法規制の必要性を発表
40	2018年2月号	・加熱式タバコの屋内使用は法律・条例で規制すべし	61	2019年11月号	①東京都受動喫煙防止条例、飲食店等の出入口の標識掲示が9月1日より義務化 ②大分県でコンビニ前の灰皿撤去の実証実験スタート
41	2018年3月号	①厚生労働省、「望まない受動喫煙」対策の基本的考え方 ②小池都知事、東京都受動喫煙防止条例の議会への上程を延期 ③横倉日医会長、自治体での規制を呼びかけ	62	2019年12月号	①諫早市議会の禁煙化 ②奈良県庁の屋外喫煙室からの受動喫煙 ③千代田区の移動式(?)喫煙室
42	2018年4月号	①健康増進法改正案、国会へ ②受動喫煙防止は地方自治体から	63	2020年1月号	①「国際基準のタバコ対策を推進する議員連盟」発足 ②北九州市主催 飲食店の経営者のための改正健康増進法周知の講演会 ③岐阜県「多治見市タバコの被害条例」記念事業に山田邦子さん来場
43	2018年5月号	・健康増進法改正案の詳細	64	2020年2月	①北海道庁の敷地内禁煙化決定 ②北九州市役所に残る喫煙室 ③国会の喫煙室 ④東京大学、行列ができる屋外喫煙所
44	2018年6月号	①東京都、受動喫煙防止条例案：従業員を雇う飲食店は原則禁煙 ②東京都子どもを受動喫煙から守る条例が施行 ③大阪市、大阪府が受動喫煙防止の強化を発表 ④奈良県生駒市、喫煙後はエレベーター使用禁止	65	2020年3月	最終回、改正健康増進法の全面施行への期待
45	2018年7月号	・盛り上がった今年の世界禁煙デー、厚生労働省・鳥取県、日医がイベント			
46	2018年8月号	・祝！東京都受動喫煙防止条例成立			
47	2018年9月号	・祝！改正健康増進法成立 ①健康増進法(2003年施行)の効果 ②改正健康増進法(2018年成立)への期待			
48	2018年10月号	・兵庫県受動喫煙防止条例による急性冠症候群低減効果			
49	2018年11月号	・千葉市で受動喫煙防止条例成立、喫煙室の撤去に助成する徹底ぶり			
50	2018年12月号	・秋田県庁は敷地内禁煙を実施、新潟県庁も建物内禁煙に			

喫煙対策は健康の問題ではなく政治の問題であること、タバコ会社の暗躍がこの問題を複雑にしていることが分かって頂けたと思います。そのような厳しい状況の中でも地方自治体や各企業、そして個人の活動が少しずつ喫煙対策を推進する力になってきました。

先日のニュースでも「座席で喫煙できる車両が残っていた一部の近鉄特急、一部の新幹線でも禁煙」と報道されていました(図1, 2)。

4月からはパチンコ店でさえも喫煙専用室以外は禁煙化されます。法律で強制

さよなら、最後の「喫煙列車」

近鉄、今月で運行終了

1/27 5:13 (共同通信)



喫煙車両がある「12200系」

近畿日本鉄道が、座席でたばこが吸える特急列車の運行を1月いっぱいまで終える。同社によると、新幹線を除くJRの在来線や私鉄で喫煙車両がある最後の列車だった。利用者は「なくなるのは困る」と残念がる一方、「廃止は当たり前で、当然の流れだ」と話す嫌煙家もいる。

九州鉄道記念館(北九州市)副館長で鉄道の歴史に詳しい宇都宮照信さんによると、列車内でたばこが吸えるのが当たり前だった時代を経て、1970年代後半～80年ごろに分煙意識の高まりで禁煙車両と喫煙車両が登場。その後、健康ブームに後押しされる形で喫煙車両は少なくなり、2010年以降に急減した。

図1. 近鉄の喫煙車両、1月で廃止

「カモノハシ」700系、20年3月8日引退 東海道新幹線

2019/12/11 16:19



1999年3月にデビューした当時の「700系のせみ」(福岡市)=共同

JR東海は11日、1999年3月にデビューした「700系」車両が来年3月8日、東海道新幹線での運行を終了し、引退すると発表した。先頭部分の形状から、カモノハシの愛称で親しまれてきた。現在は主に「こだま」で使用されている。

JR東海によると、引退を記念し、来年2月12日から700系2編成に「ありがとう」や「700」の文字のステッカーを装飾する。

700系はJR東海とJR西日本が共同開発。座席周辺が広く、喫煙できる車両があるのが特徴だった。(共同)

図2. 一部の
新幹線に残っていた喫煙車両は3月で廃止

的に、あるいは、自主的に全面禁煙となる場所は劇的に増えていくことでしょう。

このように東京オリンピック・パラリンピック大会をきっかけに大きく進んだわが国の受動喫煙対策ですが、喫煙専用室を残した施設では清掃業者の職業的な受動喫煙がなくなる、という問題点が残ります（図3）。そのような喫煙専用室を見かけたなら「ご意見箱」を探し、「医師として清掃業者の職業的な受動喫煙を見過ごすことはできない。一市民としても心が痛む。自分の身内をあのような仕事に就かせられますか？」と一言書いていきましょう（図4）。医師という立場を最大限利用していくことで、サービス産業に残る喫煙専用室も少しずつ廃止されていくと思います。

すでに62カ国で喫煙専用室を残さない全面禁煙化が実施されています。改正健康増進法が4年後に再改正されて、わが国でも喫煙専用室を残すことなく、すべての屋内が完全禁煙となるように



図3. 出雲空港の喫煙室で働く清掃業者(筆者撮影)

活動していきたいと思っています。

本市医師会報に連載の機会をいただき、ありがとうございました。

ご意見をお聞かせください

北九州空港をご利用いただきありがとうございます。
ターミナル施設や案内の方法、売店やレストランのサービスなどについて、お客様のご意見をうかがい、よりよい空港づくりに努めていきたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。
(ご意見は、店名や場所などなるべく具体的にうかがえば幸いです。)

ご利用日	ご職業	性別	年齢		
令和2年10月11日	医師	男	59歳		
ご利用目的	出発	到着	見送り	出迎え	その他
① 喫煙室の周囲のタイル拭い、					
② 吸った直後の方が隣にすわたら到着まで逃げることかできず					
↓					
喫煙室は廃止です					
③ 清掃業者の受動喫煙も問題					

※回答を御希望の方は、下記に氏名・住所をご記入下さい。

氏名 大和浩

住所 yamato@med.uoh-u.ac.jp

図4. 北九州空港の喫煙室に対する筆者の「ご意見」